

主題：ヨベル

メッセージ 6

キリストのすばらしいパーソンをヨベルとして享受する 大いなる喜びの良きおとずれ

聖書：ルカ 1:78-79 . 2:8-14 , 25-32 . 7:36-50 . 10:25-37

。わたしたちは、ヨベルの実際であるキリストを、昇る太陽として享受することができます。この昇る太陽は高い所からわたしたちに訪れて、暗やみの中に、また死の影の中に座っている者に輝きます。それはわたしたちの足を平安の道へと導くためです ルカ 1:78-79 :

- A . キリストは義の太陽であり、彼がわたしたちに輝くとき、わたしたちをいやします。わたしたちがキリストの輝きを享受するのは、暗やみを追い払うことにおける命の成長のためであり、また不義を消し去ることにおける命のいやしのためです マラキ 4:2 . 詩 84:11。
- B . キリストは、暗やみの中で輝く大いなる光であり、束縛からの解放です イザヤ 9:1-5 . マタイ 4:12-16 . ヨハネ 1:4-5 . ペテロ 2:9 . コロサイ 1:12-13 . 詩 119:105 . 107:10-22。
- C . キリストの内なる輝きは彼が救うことです。わたしたちはますます多くの主の牧養、すなわち、彼が救い、回復し、復興させ、神化することのために、日々ますます多くの主の輝きを必要とします コリント 4:6-7 . マラキ 4:2 . 箴 4:18 . 詩第 22 篇タイトル、80:1 , 3 , 7 , 15-19。
- D . 昇る太陽としての主の内なる輝きによって、わたしたちは彼をヨベルの分と自由として享受することができます コロサイ 1:12 . ヨハネ 8:12 , 32 , 36 . 使徒 26:18。
- E . 真理は光の輝きであり、光は神の臨在です。わたしたちが神の臨在を持つなら、物事に関する知恵、洞察力、先見性、内なる知識を持ちます。主の臨在はわたしたちにとってすべてです 出 33:14 . コリント 2:10。
- F . わたしたちが命における成長のために受ける命の度量は、わたしたちの照らしの度量に一致します。光の輝きだけが命を生み出すことができ、光の輝きだけが命を増し加えることができます 4:6 . 創 1:1-3 , 14 . 詩 36:9 . エペソ 5:13 :
- 1 . 神が環境からのあらゆる種類の誘惑、困難、打撃をわたしたちに臨むことを許すとき、わたしたちが持っているものが神の命からのものであるなら、これらすべての状況を経過した後、それは依然として生き延びることができ、なおさら現されます。しかしながら、わたしたちが持っているものが単に人の振る舞いからのものであるなら、その振る舞いは性質において変えられるか、失われるかのどちらかです コリント 1:8-9 . 12:7-9。
 - 2 . 振る舞いはいかなる照らしも要求せず、人の努力によって成し遂げられることができます。しかしながら、命は光の輝きによってのみ生み出されることができます。わたしたちの命における成長のために、わたしたちはさらに多くの、さらに強い光を必要とします マタイ 15:7-9 . 13:43 . 雅 6:10 . ダニエル 12:3 . ピリピ 2:15 . ミカ 7:8 . 参照、マタイ 10:27。
- G . 光は神の言葉の中にあります。神の言葉は、聖書の書かれた言葉ではなく、聖霊が内側からわたしたちに語ったものであり、わたしたちに聖書の言葉を新たに啓示します

詩 119:105, 130. ヨハネ 6:63. エペソ 5:26-27. 雅 8:13-14. イザヤ 66:2, 5.

H. 光がわたしたちの内側で輝くときはいつでも、それはわたしたちに内なる意識を持たせませす。ですからわたしたちは、光は内なる感覚であると言えます ヨハネ 8:12, 32, 36. ローマ 8:6. エペソ 4:18-19. 5:8. コリント 2:13. マラキ 2:15-16.

I. 照らしは、神のあわれみと共にあります。いつであれ神がやって来て、彼のあわれみを与えてくださるとき、彼の御顔の光がわたしたちの光であり、彼の現れがわたしたちのビジョンであり、彼の臨在がわたしたちの益です ローマ 9:15. 使徒 9:3-4. イザヤ 50:10-11. 民 6:25-26. イザヤ 5:20. 参照、ヨハネ 3:19. オバデヤ 3 節. テサロニケ 2:10-11. 箴 23:23. ヨハネ 5:44:

1. わたしたちは照らしを受けるために、主の輝きを求め、それを受け入れ、わたしたちの心を単一にし、わたしたちの願いを尽くして主だけを尋ね求めなければなりません 詩 139:23-24. ペリピ 2:12-16. 歴代下 12:14. 16:12. 34:1-3. 詩 27:8. 73:25. ルカ 11:33-36.

2. わたしたちは照らしを受けるために、自分自身を主に開き、わたしたちの心を主に向け、自分自身を主の前に置き、何も保留してはならず、何もとどめてはなりません コリント 3:16. 箴 20:27. マタイ 7:1-5. ルカ 6:36-37, 41-42.

3. わたしたちは照らしを受けるために、自分自身を止めなければなりません。これが意味することは、わたしたちの見解、わたしたちの物の見方、わたしたちの感覚、わたしたちの考え、わたしたちの意見を止めるということです。完全に停止している人が主の御前に来るとき、彼は全く単一になり、単純になって、主の言葉を受けることができます 10:38-42. ヨハネ 11:21-28. イザヤ 40:31. マタイ 5:3. ルカ 18:15-17. イザヤ 66:1-2.

4. わたしたちは照らしを受けるために、わたしたちの内側で語るその霊の光と言い争ったり、外側で語るその霊の奉仕者の光と言い争ったりしてはなりません 使徒 22:10. 雅 5:4-6. コリント 10:3-5. 11:2-3. 民 16:1-7, 33-39. 17:1-8. 参照、出 33:11, 14.

5. わたしたちは照らしを受けるために、継続的に光の中に生きなければなりません イザヤ 2:5. ヨハネ 1:7. ヘブル 9:14. 10:22. マタイ 5:3, 8, 14. 詩 119:105. 啓 1:20. 詩 36:7-9.

. わたしたちは、ヨベルの実際であるキリストを、大いなる喜びの良きおとずれとして、すなわち、墮落した人類の救い主として、神の大いなる喜びのために享受することができます ルカ 2:8-14. 4:18-19. イザヤ 61:1-3. ミカ 5:2. ローマ 5:10.

. わたしたちは、ヨベルの実際であるキリストを、わたしたちの光また栄光として享受することができます ルカ 2:25-32. イザヤ 4:4-6. 42:6. 49:6. 43:7. エレミヤ 2:11. 出 28:2. コリント 3:16-18. エペソ 5:26-27.

. わたしたちは、ヨベルの実際であるキリストを、金貸しとして享受することができます。彼がわたしたちの罪の負債すべてを赦し、支払ってくださったことによって、わたしたちは極みに至るまで彼を愛するようになります ルカ 7:36-50:

A. 人・救い主の人生の美德、すなわち愛情、慈愛、忍耐、あわれみ、思慮は、彼とこの罪深い女との交わりの中で示されました。

B. 彼の神聖な属性、特に、人の罪を赦し、赦された罪人に平安を与えるという神聖な権

威の属性も、示されました 48-50 節。

- C . キリストは金貸しとして、彼に対するわたしたちの罪の負債すべてを赦し、わたしたちを、彼に注ぎ出して愛する者とします。これは彼の法理的な贖いです。キリストは命の豊富を分配する方として、ご自身を計り知れないその霊としてわたしたちの中に分与し、わたしたちを彼の祝福の経路とします。これは彼の有機的な救いです
36-43 節 . 12:15-21 . コリント 15:45 後半 . エペソ 3:8 . ペテロ 4:10 . ピリピ 1:19-25。
- D . わたしたちは主によって赦されれば赦されるほど、さらに彼を愛するようになります
ルカ 7:42-43, 47 :
- 1 . 赦された女は、救い主に対する愛を持っていただけでなく、彼を信じる信仰も持っていました。その信仰は、愛を通して働き、平安という結果になりました。わたしたちの信仰は、わたしたちを神の赦しへともたらし、愛と平安との生活という結果になります ガラテヤ 5:6 . ルカ 7:50。
 - 2 . 主イエスに対するわたしたちの愛が増し加わるとき、他の人に対するわたしたちの罪定めは減少します。もしわたしたちが他の人を罪定めするなら、わたしたちは主に対するわたしたちの愛に欠けています。
 - 3 . 真の信仰とは、わたしたちの中に注入されて、彼を信じるわたしたちの能力となるキリストご自身です。クリスチャン生活とは、信仰としてのキリストを注入されて、彼によって赦され、平安の道において彼を極みまで愛する生活です ガラテヤ 2:20 . コリント 5:14-15 . 参照、ローマ 3:17 . イザヤ 66:12。
- E . わたしたちは主によって赦されれば赦されるほど、さらに彼を畏れます 詩 130:4 :
- 1 . 神を畏れることは、神をあがめることです(箴 1:7 . 2:4-5 . 9:10 . 10:27 . 14:2 , 26-27 . 15:16 , 33 前半 . 22:4 . 23:17 . 31:30)。それは彼に信頼し、彼を尊び、すべてのことにおいて彼を考察し、考慮することです (3:5-10 . ヨシユア 9:14 . イザヤ 11:2)。
 - 2 . 神を畏れることが意味するのは、わたしたちが自分自身からのいかなることに、また自分ができることにも信頼するのではなく、寄る辺なき者のように彼に依り頼むということです 雅 8:5-6 . コリント 1:8-9 . ピリピ 3:3。
 - 3 . 神を畏れることは、わたしたちが邪悪なことを行なうことをやめさせます(箴 8:13 . 14:16 , 27 . 16:6 後半 . 19:23)。それはまたわたしたちに他の人たちの苦難に触れさせ、彼らにあわれみと思いやりを示させます (14:30-31 . 17:5 . 19:17 . 21:13 . 28:27)。
- F . 神がわたしたちの罪を赦すことは、彼がわたしたちの罪を忘れるという結果になります エレミヤ 31:34 . ヘブル 8:12 . ヨハネ 1:7 , 9 . 参照、詩 103:1-5 , 12 . 110:3 . 116:13。
- G . 主イエスはわたしたちを解放する方、罪を赦す資格があり、わたしたちを罪の奴隷状態から解放することができる方です。それは、わたしたちが新約のヨベルの実際である彼を享受するためです。彼がわたしたちの罪を赦し、わたしたちを罪の奴隷状態から解放した結果、彼はわたしたちの永遠の分け前、また栄光の自由となって、彼の永遠のエコノミーを完成します ヨハネ 8:32, 36 . コリント 3:17 . ローマ 8:2 . コロサイ 1:12
- . わたしたちは、ヨベルの実際であるキリストを良きサマリア人として享受することができます。キリストは思いやりをもって、墮落し律法に打たれた罪人を顧み、彼をその霊と神聖な命をもっていやし、召会の中へと移されました ルカ 10:25-37 :

- A . 律法学者は、「わたしの隣人とはだれでしょう？」と主に尋ねました。主は良きサマ
 リヤ人の物語をもって答え、最後に尋ねられました、「これら三人のうち、だれが強
 盗の手に陥った者の隣人になったと思うか？」。律法学者は、「彼にあわれみを示し
 た者です」と答えました 29 , 36-37 節:
- 1 . これを示しているのは、律法学者が強盗の手に陥った者であり、彼にあわれみを示
 した隣人は良きサマリア人である主イエスであったということです。自分を義とす
 る律法学者が助けられて認識したことは、彼には、彼が愛すべき隣人が必要だった
 のではなく、彼を愛する愛の隣人としての主イエスが必要であったということです。
 - 2 . 主がわたしたちに、自分自身のように、あなたの隣人を愛しなさいと告げるとき、
 彼が告げていることは、思いやりのあるサマリア人・隣人としての彼を愛すること
 です。彼が「行って、あなたも同じようにしなさい」と言ったことが意味すること
 は、律法学者が主を愛として受け入れるべきであって、それは彼が、主を彼の隣人
 として愛し返すためです 27 , 29 , 37 節。
 - 3 . 人・救い主は、失われた人を捜し求め、罪人を救う彼の務めの旅において(19:10)、
 ユダヤ教徒の強盗どもに傷を負わせられた犠牲者が、悲惨な死にかけている状態に
 あった場所に下って来られて、優しいいやしと救いの顧みを彼に与え、緊急の必要
 に完全に応じられました 10:33-35:
 - a . その者の傷に包帯をした いやす。
 - b . その傷に油とぶどう酒を注いだ 聖霊と神の命を与える マタイ 9:17 . 土 9:9 ,
 13。
 - c . 彼を自分の家畜(ろば)に乗せた へりくだった方法でへりくだった手段によっ
 て運ぶ ゼカリヤ 9:9 . 参照、 コリント 1:26-29。
 - d . 彼を宿屋に運んだ 召会にもたらず 彼の世話をした 召会を通して顧みる。
 - e . 宿屋に支払いをした その者のために召会を祝福する。
 - f . 宿屋が費やしただけのものを帰って来た時に支払うと言った この時代に、召
 会が主によって救われた者に費やしたものは何であれ、救い主の再来の時、払い
 戻すことを宣言する マタイ 24:45-51。
- B . わたしたちの救いのために、わたしたちは主の思いやりと愛において、彼を隣人とし
 て認識する必要があります。わたしたちの奉仕のために、わたしたちは主の願いと好
 みをもって、彼を主人として認識し、彼のエコノミーを遂行する必要があります ル
 カ 10:38-42 . 使徒 22:8 , 10 . ピリピ 3:10 前半。